

○5月4日(祝)開催 第3023回例会
神戸愛山協会同調「第5回/みどりの日を
歩こう!しあわせの村へ」 報告

神戸背山の愛護と毎日登山の奨励という共通
理念を持った背山の主たる登山会の結束により
誕生した「神戸愛山協会」。その歴史は古く、大正
11年の12月まで遡る。

明治30年代まで禿山であった摩耶・六甲山に、
神戸市が造林学者本多静六博士の指導のもと植
林を行ったことは周知の通りであるが、その後の



明治35年/植林開始の再度山(神戸市資料より)



明治41年の再度山

緑化の推進活動や山火事防止活動、登山道の補修
や清掃などは、多くの登山会会員のボランティア
精神によって培われて来た。その活動の成果も一
助となって現在のような緑豊かな神戸の背山が
形成されていると言っても過言ではない。此の活
動を未来へも引き継いでいこうと、広く会員の意
思疎通を図ることを目的として行っているのが
本行事である。

第5回目を迎えた今年は、メインの会場を「しあ
わせの村・芝生広場」とし、市バス利用で直接現
地へ集まるもよしとした。



西鈴蘭台に集合したハイキング参加者

ハイキング参加者は神鉄西鈴蘭台駅前に集合。西
鈴蘭台～南五葉～星和台～しあわせの村のコー
スを歩き会場へ。先導役はこの地区に詳しい菊水
山登山会の皆さん。



住宅街を楽しんで歩く参加者



しあわせの村へ足取りも軽く!

そして、参加された皆さんが順調に歩いた為、予
定より随分早く会場到着となった。

会場ではすでに愛山事務局のメンバーが諸準備
を完了。参加者へプレゼントされる記念タオルや
粗品が手際良く準備されており、11の山筋と一
般参加を含めた12の列に順序良く配られた。



参加された方に記念タオル・他が配られた!

10時30分開式。愛山協会会長としての挨拶並びに行事の趣旨説明をさせて頂いた後、多忙な中、急遽駆けつけて下さった当会顧問の加田裕之兵庫県議会議員様にご挨拶を頂いた。



趣旨説明をする吉野会長

その後、はじめての企画「じゃんけん遊び」を開始。勝ち残った70名の参加者には、山岳連盟六甲合同登山完歩賞でお馴染の「せんべい」を記念賞としてお渡しさせて頂いた。



五月晴れのしあわせの村会場に集う！

11時過ぎには解散とし、風薫る五月晴れの園内を思い思いに楽しんで頂いた。

神戸愛山協会会長 吉野 宏
(岳連普及委員会委員長)

天 候 晴れ

担 当 例会・自然保護委員会

主 催 神戸愛山協会加盟登山会

協 力 神戸市消防局予防部 兵庫県山岳連盟
グリーンパトロール員(登山関係)

参加者 244名(一般参加者含む)